

## オーディオ実験室収載

### モーツアルト盤を聴く(14)(HP 収載) —最新アナログシステムでの試聴(14)—

#### 1. 始めに

前報(13)に引き続き、新たに入手したモーツアルトのアナログ盤を最新アナログシステムで試聴していきます。

#### 2. モーツアルトのアナログ盤の試聴方法

モーツアルトのアナログ盤の由来およびアナログシステムの状況は前報(1)のとおりです。今回は、LINN LP-12 と ThorensTD124 を使用します。

前報(9)から、アース関係が仮想アース Crystal E の導入(7)で報告のとおり、仮想アース Crystal E の追加とアース専用ケーブル Clone 2 が加わっていますが、LINN LP-12 と ThorensTD124 のシステムに関係するのは、ZANDEN Model120 のアースケーブルが Western の撚り線から Clone 2 に代わっていることです。

音源は、新たにモーツアルトのアナログ盤を使用していきますが、今回も、アンサンブルの曲です。

LONDON K18C-9219

モーツアルト ディヴェルティメント 7 番ニ長調

ディヴェルティメント 11 番ニ長調

ウイリー・ボスコフスキー指揮ウイーンモーツアルト合奏団

#### 3. モーツアルトのアナログ盤の試聴結果

LONDON 盤ということで、DECCA、逆相、第 4 時定数 High で聴いていきます。

LINN LP-12 の再生では、本盤が前報(13)の盤と同じく、ボスコフスキー指揮ウイーンモーツアルト合奏団の演奏ということで、明るく快活な曲の優雅な演奏であり、前報(13)と同様、爽やかで艶やかな再生です。

ThorensTD124 の再生では、前報(13)の盤と同じく、ボスコフスキー指揮ウイーンモーツアルト合奏団の演奏らしい、生き生きとした躍動的な演奏が聴かれます。

#### 4. まとめ

ターンテーブルアキュライザー、ダンパーフレック、Crystal E の導入および ThorensTD124 のターンテーブルシートの交換などの総合的な効果として、元の録音の優秀なことは、LINN LP-12 と ThorensTD124 双方の再生でもよく分かります

し、LINN LP-12 と ThorensTD124 の再生パフォーマンスの違いも明瞭に聴き分けられます。

以上